

西多摩医師会報

創立

80
周年

創刊 昭和47年7月

第251号 平成5年11月

同好医会発足100周年



『80周年式典開催』

目

次

1. 80周年記念式典及び祝賀会開催

広報部 … 2

80周年記念式典を終えて

松原貞一 … 3

2. 理事会報告

広報部 … 4

3. 会員通知・医師会の動き

事務局 … 7

4. 学術

三公立病院講演会開催 広報部 … 9

第2回多摩医学会役員会報告

広報部 … 9

5. 文芸随筆その他諸事百般

雑記『従業員旅行』 山田正哉 … 10

6. 地区だより

青梅地区 広報部 … 11

7. お知らせ・訃報

玉木一弘 … 13

頁

頁

80周年記念式典及び祝賀会盛大に開催さる

西多摩医師会創立80周年記念式典及び祝賀会が、来賓90名、会員95名、事務職員3名、計188名の多数の出席者を得て、10月16日(土)午後2時より、立川グランドホテルにて開催された。会場収容力や列席者の利便を考慮し、西多摩管外での開催となつたが、会場は溢れんばかりの盛会となつた。式典は、真鍋、玉木総務担当理事の司会で、物故会員への黙禱に始まり、松原会長式辞、会員表彰に統いて、村瀬日本医師会長、福井東京都医師会長、富永田無市医師会長、伊藤公介代議士の祝辞をいただき、宮川副会長の閉会の辞で約30分の式典を終えた。引き続き、NHK解説委員行天良雄氏の約1時間の記念講演が『世界の中の日本の医療体制』の演題で行われた。日本の医療体制の歴史、長所、今後の課題点などが、欧米との比較を交えて語られ好評を博した。

その後会場を隣接会場に移し、祝賀会が開催された。石田福祉担当理事、小林、笛本実行委員の司会で、松原会長挨拶に始まり、田辺青梅市長、田村、野村両都議の祝辞をいただき、来賓紹介、祝電披露のあと、鏡開きを行い、関根東京都医師会監事の御発声で乾杯の後、弦楽四重奏の喜遊曲に乗り祝宴が開始された。時に隣人の会話も聞き取りにくいほど終始熱気に溢れた約1時間半の祝宴となつた。最後に足立副会長の閉会の辞により会は締めくくられ、会場出口にて来賓、被表彰者、会員にはそれぞれ、記念品が手渡され、約3時間に渡る式典、講演、祝賀会は滞りなく無事終了した。

(広報部)



表彰者席から会場を臨む



会員表彰



講演会風景



演者 行天良雄氏



会長挨拶



鏡開き



祝宴風景



80周年記念式典を終えて

会長 松原貞一

春より準備をすすめてきました当医師会創立80周年記念式典は、菊香る10月16日午後2時より、立川グランドホテル4階富士の間において、続いて祝賀会が芙蓉の間で盛大にとり行われましたことは、時の責任者として感無量のものがありました。役員・委員をはじめ会員の先生方のご協力ご努力に対し、改めて厚く御礼を申し上げます。

当初は出席者140名位を予定して諸計画を考えておりましたが、最終的には会員95名、来賓90名と200名近い出席を頂くことになり、急遽計画の変更を迫られる嬉しい悲鳴の時もありました。式典会場のグランドホテルには二度三度と足を運び、当日は式典講演の間中受け付けに張りついて応対をして頂いたり、見えない所陰で式典を支えて下さった先生方には、感謝の言葉もありません。

記念品は表彰者用・来賓用・会員用と3種を作りましたが、担当して頂いた三越外渉本部営業部長の田辺 清氏とは1日に何度も連絡をとり合い、仕事を越えた厚意を頂きました。来賓用桜の木を素材とした本箱型時計には、青梅の画家 井上員男先生の桔梗のデザインも好評で、吉川英治の言葉も含めて、来賓の方々に大変喜ばれました。

記念講演をお願いした行天良雄先生には、講演内容その他の折衝を青梅市立総合病院の星院長にお願いを致しました所、「世界の中の日本の医療体制」という演題にふさわしい分り易いご講演を頂くことが出来、更には予定時間を一分も違わずに終えられたことも、一同の感服する所がありました。

都医師会監事の関根 博先生の乾杯で始まった祝宴も賑やかに進行、会員の先生方が努めて来賓の接待に当って頂いたので、途中退座される方も少なく、料理も良かったと皆様に喜んで頂けました。

式典・講演・祝賀会と全く予定通りの時間に進行したことは、司会を担当した役委員の配慮のおかげと感謝しています。又事務職員を始め、縁の下で支えて頂いた方々も多々あると思い、合せて厚く御礼を申し上げます。

理事会報告★ *Information***10月定例理事会****平成5年10月7日****西多摩医師会館****【1】 報告事項**

(I) 東京都医師会第212回(臨時)代議員会報告 (宮川副会長)

9月24日、宮川、西村代議員出席。

1) 都医会館増改築 2) 会館建設積立金取り崩し 3) 都内病産院医師会承認、の3件につき討議、承認した。

(II) 各部報告 (真鍋理事)

(総務) 80周年式典準備の最終打ち合せを、10月2日ホテル側と行った。

(III) 各地区会よりの報告 (各地区理事)

(青梅) 9月28日役員会、今後の検死体制、産業廃棄物について検討す。

(福生) 10月7日幹事会、11月6日懇親会、11月9日臨時総会を行う。

三混の個別化を平成6年度から実施する予定。

(IV) その他 (石井理事)

第2回多摩医学会役員会報告 別掲記事

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について —— 承認 —— (真鍋理事)

(II) 青梅保健所「保健所運営協議会」委員変更について (〃)
吉野住雄先生から 大堀洋一先生に変更する。(III) 保険指導整備委員会委員変更について (〃)
(眼科) 押切 勝先生から 酒井義生先生に変更する。

(IV) 「東京都医師会職員懇親会」に職員出席のため恒例により11月26日(金)会館3時閉館する件について承認す。 (〃)

【3】 協議事項(I) 創立80周年記念事業全般について (足立副会長・真鍋理事)
予定参加者多数となる。10月12日に実行委員会最終打ち合せを行う。

(II) 日医会員増強について (真鍋理事)

10月定例理事会**平成 5 年 10 月 26 日****西多摩医師会館****【 1 】 報告事項****(I) 都医地区医師会長協議会及び三多摩地区医師会長協議会報告（10月22日）（松原会長）****1. 都医からの伝達事項****(1) 会員加入促進運動について**

地区医師会未加入者名簿作成中。加入を促進されたし。

(2) 病院等に対する盜難防止対策の徹底について

1. 犯人複数で国道沿被害多発中、ガラス破損侵入し凶器をもつ。
2. 現金保管注意し、不審者発見時は110番通報を。

(3) 身体障害者健康診査事業について

市町村実施主体で医師会に協力要請す。

国、都、市町村が3分の1費用を負担する。

衛生局健康推進部高齢保健課と福祉局障害福祉部在宅福祉課担当で、平成6年度は5区市でモデル実施予定。

(4) 乳幼児医療費助成事業の実施について

所得制限（児童手当一般給付358.9万以下、特例給付625万以下）を設け、現物給付（市町村→医療機関）、現金給付（不提示都外）を行う。

市町村実施主体で都が2分の1補助する。

(5) 第8回医療とニューメディアシンポジウムの開催について

平5.11.18(木) PM2:00~4:45 お茶の水スクエアA.

「医療とニューメディアを考える」

(6) 全国医師会病院、臨床検査センター総会開催について

日医主催 都医当番担当

平5.11.14 京王プラザ AM9:00~PM4:00

「大都会に於ける医師会共同利用施設の在り方」

(7) 院内保育施設設備補助事業の実施について

公的以外の病院と診療所を対象とする院内保育施設の新設に伴う初度備品（1品目1万円以上）の整備に要する費用を、基準額200万、補助率2分の1で実施中。

衛生局医療計画部看護課計画係まで。

2. その他**(1) 成人病検診従事者講習会（子宮ガン等）の実施について**

平5.11.16(火) PM2:30~4:30 市ヶ谷グランドビル

「体部がん検診の現状と問題点」

(2) 多摩地区永年（15年以上）検査業務従事医師表彰の推薦を求められる。

該当者を推薦する。

(3) 3類、手足口、リンゴ病の取り扱い

治癒証明書の公費負担のあり方に地域差があり、検討課題である。

(II) 地区医師会病院担当理事連絡会報告

(宮川副会長)

各医師会の病院部会の活動状況について報告あり。

(III) 「医療協」報告

(〃)

各市町村検診事業状況報告あり。福生市における三混の個別化にあたり、説明を行った。

(IV) 各地区会よりの報告

(各地区理事)

(秋川) リンゴ病、手足口病の治癒証明書の今後の取扱について、西医として検討してほしい。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

—— 承認 —— (真鍋理事)

(II) 都立秋留台高校学校医（眼科）の変更について

(〃)

天野了会員を推薦する。

【3】 協議事項

(I) 平成6年度諸手当の要望について

(高水・大堀理事)

例年通り、増額を求め自治体側と交渉に当る。

(II) 産業医報酬基準改定について

(伊藤理事)

下表の通り改定する。西医の契約書があるので、今後はそれに基づいて契約していただくよう会員に通知する。

〈改 正〉

労働者数(人)	報酬月額(円)
50未満	20,000～40,000
50～ 100	45,000
101～ 200	55,000
201～ 300	65,000
301～ 400	75,000
401～ 500	85,000
501～ 700	120,000
701～1,000	160,000

(III) 日医会員増強について

(真鍋理事)

増強を推進するため、引き続き、未加入者に加入をお願いする。

(IV) その他

- (1) 西多摩地区での自治体咽頭癌検診の実施に向けて検討を願いたい旨、当地区耳鼻科医会からの要望があった。

今後、公衆衛生部の担当で検討する。

- (2) 医業用建物の固定資産税の減免措置について

西多摩地区では青梅地区のみ50%減免措置がある。今後他地区でも実施されるよう働きかける。

会員通知

- 5年度老人性痴呆疾患保健医療指導者研修の実施について
- 5年度学校保健研修会の開催について
- 「第6回日本保育園医協議会研修会・大阪府医師会就学前児保育研修会」のプログラム
- 10月、12月レセプト提出日について
- 5年度講義課程研修の実施について
- 三公立病院学術講演会のお知らせ
- 日医、生涯教育修了証の日本小児科学会認定医資格更新への組入れについて
- H I V検査の実施について
- 「5年度東京都医師会主催日本医師会生涯教育講座」の開催について
- 杏林大学医学部10月学内講演会のお知らせ
- 5年度都医老年医学研修会共催「日本医師会生涯教育講座」の開催について
- 厚生省の「医療法人に関する疑義について（回答）」の送付
- 冊子 特殊疾病（難病）患者の治療及び生活指導の手引
- 〃〃〃患者診断手引
- 〃〃 AIDS診断マニュアル
- 4年度損失医療費の取りまとめについて
- 日医医師日記（手帳）の斡旋について
- 学術講演会（10/29）
- 5年度東京都薬物乱用防止推進都民大会の実施について
- 三多摩ブロック産業医研修会開催のお知らせ
- 5年度日本医科大学医師会主催「日本医師会生涯教育講座」の開催について
- 八王子赤十字血液センター第9回多摩血液検討会の開催について

文芸隨筆その他諸事百般

雑 記

従業員旅行

山 田 正 哉

現在は各医療機関が夫々従業員の慰安を目的として、観劇、旅行、海外旅行等を企画実行している関係で、従業員旅行と医師会の関係に就いて疑問を持つ人は多いだろう。

然しながら20数年前までは、医師会福祉部が医師会事業の一部として、医師会傘下の各医療機関の家族、従業員を対象とし懇親と慰安を目的とし毎年日帰り旅行を実施して来た。

此の様な事業が医師会で何時の頃から実行されたのか詳らに私は知らないが、医師会の仕事に關係した頃には既に実施されていた。

石森会長時代には江の島鎌倉日帰り旅行に、小泉会長時代には赤城山、伊香保温泉旅行を企画参加した。各医療機関は勿論のこと福生病院、阿伎留病院の職員の方々が多数参加され、時と共に参加者が増加して嬉しい悲鳴を挙げたことを覚えている。旅行の足として常にバスを2台用意し、1台は五日市より出発して南部地区の参加者を乗車させ、他の1台は青梅より出発して西部、東部の参加者を乗車させて、一応福生病院に集合し、旅行参加者の点検を実施した後、目的地に向って朝の空気を室内に入れて早朝に出発し、帰途は途中から夫々各地区の参加者を下車させて別れて解散していた。

観光バス代金及びその他の経費は医師会福祉部事業費の一部から支出し、各医療機関は概ね参加者1人当5千円程度を負担して貰った。

この事業は大変な評判で早くから各医療機関の従業員の間で毎年旅行場所が話題となり、三三五五連れ立って参加する人が多くなって、募集開始数日で定員に達する程の人気の為に、福祉部は旅行場所の選定に苦労していた。

この従業員旅行に関する記録が現在医師会に残ってるかどうかは知らないが、高水会長

時代の昭和47年9月10日に当時の福祉部の川崎健一郎先生の発案による都内見物と東宝名人会観劇を企画し、参加人員80名として募集した処1~2日で満員となり各医療機関から増員の申出が殺到したが、東京よりハトバスを回送する関係で当初の計画通り残念ながら80名で打切った覚えがあった。前述した如く南部地区は五日市より、東部及び西部地区は青梅より夫々車を出発させ福生病院で合流して、浜離宮、貿易センター見学、東宝名人会観劇の旅行に出発した。

夫々の見学場所を終了して日比谷の東宝名人会劇場に入場し、川崎先生お骨折の美味しい昼食弁当を貰って開演を待った。

東宝名人会で出演者の落語家の1人より高座から“本日は西多摩医師会から多数のお客様のご来場を頂き出演者に成り代って心から厚く御礼を申し上げます”と挨拶され驚きと共に楽しい1日を過したと聞いた。その後この催しが大評判となり1日も早く続行の希望の声が高まった。

高水会長も順調に医師運営が運び2期目に入った頃、就任前に私と協議した事項もスムーズに運び、また東京都医師会は勿論三多摩各医師会、関係官公庁及び会員から絶大なる称賛を頂いた60周年記念事業も終了した頃に、従業員旅行に関して日帰り旅行も良いが、1泊旅行を各医療機関従業員の間で希望の声が上っていた。当時総務担当の私と福祉部委員とでこの件に関して相談検討した結果、日帰り旅行も大分実施し医師会と家族、従業員との間のコミュニケーションも成果が上がったので、此の際医師会として1泊旅行を初めて実施することに決定した。

1泊旅行先は余り遠方でなく、疲労も残さず楽しく旅行出来る場所として数ヶ所候補地

が話題になったが、結局秋に実施する関係から充分秋景色を愛でる場として箱根、十国峠、熱海温泉1泊旅行を実施することにした。

今迄の家族、従業員旅行は前述した如くバス2台を使用してた関係で募集人員も多かったが、今回は1泊旅行の為めバス1台とし募集人員も50名に縮小した。募集を開始すると数日で満員となりその後増員の希望の声もあったが、確保した旅館の部屋数、福祉部予算の関係もあって50名にて打切った。

昭和49年11月16日バス1台で出発したが参加された桂木真先生が、会報28号（昭和50年1月発行）に“家族、従業員の1泊旅行リポート”を掲載されている。それによると宿泊先是伊東温泉幸聚館で部屋は百瀬政雄先生、川崎健一郎先生と相部屋で狭く且つ粗末であったと記載されている。

私の記憶では、宿泊先を熱海温泉の繁華街に羽村市出身の方が経営される旅館があったので、故坂本保先生を煩わして交渉して頂いたように覚えているが、或は時期的な関係もあって確保出来ず伊東温泉に変更したのかも知れない。

この旅行の引率責任者を田中浩哉先生にお願いしたように記憶しているが、桂木先生のリポート中には田中先生のお名前は見る事は出来ないが、この1泊旅行は参加者に大変喜ばれて継続希望の声があったものの我々の耳に聞えて来たことは予期せざる事態であった。

それは各医療機関から参加された従業員の方々の中で特に看護婦サン方の各医療機関に

於ける経験年数と給料との関係であった。当時は看護婦サンの基準給与額も医師会として一般医療機関に参考資料として配布して置らず且つ看護婦不足も手伝って夫々の医療機関は給与を決めていた。官公立病院では一定基準で支給していた関係もあってか、相部屋同志でこれが話題となったようである。その結果一般医療機関の看護婦サン移動転職が生ずる様な結果を生み出し、企画は大変ご好評を頂いたものの医師会傘下の医療機関に対し大変なご迷惑をおかけする結果となり、今回を以って1泊旅行を中止することにして爾後は従前の日帰りコースに戻すこととした。

その為め川崎健一郎先生発案企画なされた東宝名人会の評判が良く続行を切望する者が多数だったので、再び先生にお願いして数回実施した処何時も多数の参加者があつて、二度三度と参加された方もあったと聞いている。

この有意義な催物は故瀬戸岡会長になると自然消滅して今日に至っている。

医師会主催で福祉を目的とした事業、従来の様な家族、従業員との絆を繋ぎお互に和気あいあいの中で旅行することは、現在の医師会定款上では実行することは不可能になって来た。

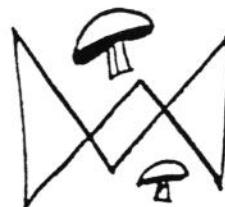
何も家族、従業員旅行ばかりが、医師会との融和を保つものとは限らない。医師会員、家族、従業員の誰れもが、書道、彫刻、絵画、写真、生花等で楽しく参加出来る他地区医師会が実施している文化祭を開催することも一つの方法ではないだろうか。

地区だより

青梅地区

10月17日、青梅市医師会ゴルフコンペが東都飯能CCで開かれました。当日は小雨まじりでしたが、午後からは暑いくらいの晴天になりました。12名参加で恒例どおりに和気あいあいと行われ、優勝は大河原森本医院の森本先生でスコアは92でした。2位は青梅市立

総合病院の内田先生、3位は吉野先生でした。
(広報部)



お 知 ら せ

12月（11月診療分）の

保険請求書類提出日

12月 7 日（火）

—— 正午迄です。 ——

12月は年末のため1日早くなりますのでお間違いないよう
ご留意願います。

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談下さい。

- ◎ 相談日 11月は10日（水）
12月は8日（水）の予定です。
- ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
- ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎ 相談料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

〈事務局よりお知らせ〉

来る11月26日（金）は
「東京都地区医師会事務職員懇親会」
出席のため、事務局は3時に閉館
いたします。



計 報

田代ミツエ様 81才

秋川市草花1822-1

田代医院

田代洋先生（ご母堂）

去る10月17日逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

あとがき

本年度のメインイベント80周年記念式典と祝賀会が会員各位の御協力で無事、盛会に終りました。我が広報委員もカメラやビデオ撮影に走り回りましたが、あっという間に終ってしまったというのが実感です。余りに出席者が多く、おひとりおひとりのスナップを撮るまでには至らず心残りでしたが、明田川広報部長自ら、プロ級?のビデオ機材を持ち込まれ、貴重な映像も記録出来ました。事務局に保管致しますので御覧下さい。90周年や100周年の時、きっと貴重な記録になると思います。当日の写真は80周年記念誌に、誌面の許す限り掲載したいと思いますので御期待下さい。末尾ですが、写真部員のこころいきで、応援カメラマンを引き受けて下さった稻垣壮太郎先生に感謝致します。

(玉木一弘)

社団法人 西多摩医師会

平成5年11月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 明田川修生

天野了一 石井好明 片平潤一 小机敏昭 辻田茂夫

瀬戸岡俊一郎 高水松夫 玉木一弘 山川淳二

印 刷 所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

優れたノウハウで西多摩医師会会員のニーズにお応えいたします。

経理事務に関する事なら何でもお気軽にご相談下さい。

- 一人医師医療法人の設立・先生方の関連事業の会社設立
- 新規開業時の銀行提出資料の作成
- 毎月の記帳・給与計算・決算業務の代行・指導
(この業務はNHK教育テレビで紹介された21世紀の経理システム
「キヤッショ・レーダー」で行います)
- 賃貸・譲渡や経営再建に関する相談
- 利益計画の作成、事業承継や財産管理等の資産保全に関する相談

なお、税務相談、申告書の作成等の税務については、日経メディカル「メディクイズ」を連載執筆中の「小山公認会計士事務所」がサポートいたします。

有限会社 経理処理サービス

本社 東京都田無市本町5-11-14

TEL. 0424(64)8390

FAX. 0424(64)2218

自然のめぐみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒
(医療用)128品目+3品目により、
高齢化社会の深まりつつある現実の
治療に貢献しつつ、
漢方製剤の科学的な実証を通じて、
21世紀に至る長寿社会の治療手段と
しての役割をはたしていきたいと
願っております。



最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本 社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)

仙 台 支 社 〒983 仙台市宮城野区栗原町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)